

●賃金、労働条件の改善

●住民の安全・安心

●地域経済の活性化

2012 公契約条例大集会

みんなで語って みんなで決めよう コーケイヤク

自治体が働く貧困層をつくってはいけない。自治体による「反貧困宣言」ともいえる、この公契約条例が市民の間にも浸透してきました。上田文雄札幌市長も、積極的に市民に対して訴えを続けています。

当初は、果たして効果はあがるのか、低価格競争で体力を失った業界にマイナスの影響を与えないかなどの懸念も出されていましたが、条例の内容が明らかになり、市と業界団体との意見交換が行われるなかで、少しずつその懸念も解消されつつあります。

そして何よりも、公共事業・業務委託・指定管理者施設で働く労働者の雇用・労働、生活の苦しさがこの間もクローズアップされています。私たちも指定管理者施設で働く労働者の実態を明らかにしてきました。なんとしても公契約条例が必要です。

もっともこの条例は、条例がなぜ必要なのか、どんな条例にすべきなのか、課題はどこにあるのかなどを、業界の労使関係者はもちろんのこと、市民みんなが関心をもち語り合うというプロセスこそが重要です。

上田市長にご参加頂き、公契約条例大集会を予定しています。

みなさんのご参加をお待ちしています。

日時

9月13日(木)

開場18:00 開演18:15

場所

エルプラザ3Fホール

(札幌市北区北8条西3丁目)

主催

札幌市公契約条例の制定を求める会

後援

札幌弁護士会

報告
(予定)

上田 文雄 札幌市長

業界関係者

労働者

弁護士

研究者



連絡先

北海道合同法律事務所

弁護士 渡辺 達生

Tel:011-231-1888

